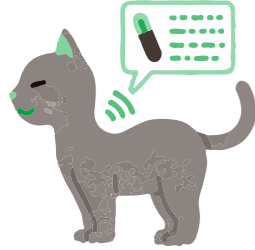


マイクロチップの装着制度が始まっています!

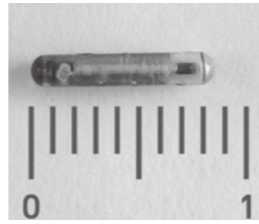


ペットショップやブリーダーなど犬や猫を販売する事業者に対し、令和4年6月から犬、猫へのマイクロチップの装着が義務付けられました。すでに犬や猫を飼っている飼い主の方は、飼っている犬や猫にマイクロチップを装着するよう努めることとされています。マイクロチップは、動物病院で装着することができ、首輪や迷子札に比べて外れてしまうことがほぼないため、ペットの身元をずっと証明することができます。

○マイクロチップって何?

マイクロチップは、直径1.2mm、長さ8mm程度の円筒形です。世界で唯一の15桁の個体識別番号が記録されており、この識別番号をマイクロチップの専用リーダーで読み取ります。

マイクロチップは、犬・猫では首の後ろの皮下に装着します。装着は、専用の注射器で獣医師や獣医師の指示のもと愛玩動物看護師が行います。正しく施術すれば、動物の体に負担をかけることはありません。



○飼い主情報の登録を忘れずに!

マイクロチップは、装着後、データベースに飼い主や動物の情報を登録することで初めて、個体識別としての機能を果たします。マイクロチップの識別番号は、リーダーで読み取ることができますが、データベースに情報が登録されていないと、ただの15桁の番号にすぎません。

飼っている犬や猫にマイクロチップを装着したり、装着されている犬や猫を飼い始めた場合は、30日以内に飼い主情報を登録しましょう。



<登録・変更登録の方法>

飼い主情報の登録は、公益社団法人日本獣医師会のサイト又は郵送で行えます。

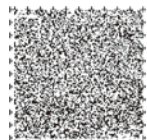
犬と猫のマイクロチップ情報登録サイト ▶▶ <https://reg.mc.env.go.jp/>
お問合せ先：公益社団法人日本獣医師会 ▶▶ TEL 03-6384-5320

お知らせ

- ◆ コロナ感染症の拡大に伴うBCP(事業継続計画)に従い小規模企業健診を休止していましたが、再開する予定ですので、よろしくお願ひします。
- ◆ 肝炎ウイルス検査、HIV抗体検査、性感染症検査(梅毒・クラミジア)を無料で行っています。事前に保健師にご相談ください。
- ◆ 便検査(赤痢・チフス菌・パラチフス菌・その他サルモネラ菌・腸管出血性大腸菌O157) 10月3日(月)・17日(月) / 11月7日(月)・14日(月) / 12月5日(月)・12日(月) ※検査は有料です。

【連絡先】 島しょ保健所三宅出張所 TEL 04994-2-0181 FAX 04994-2-1009
月～金曜日8時30分から17時00分(祝・祭日は除く)

※石油系溶剤を含まないインクを使用しています。



リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



2022年
秋号
No.349

登録(04)1号

保健所だより

東京都島しょ保健所三宅出張所 〒100-1102 東京都三宅島三宅村伊豆1004番地
TEL. 04994 (2) 0181 FAX. 04994 (2) 1009

ワクチン接種でオミクロン株流行に臨みましょう

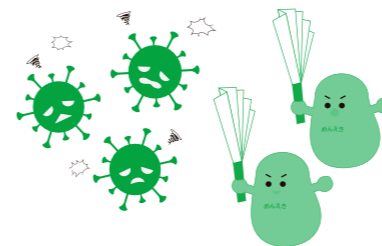
オミクロン株が流行の主流となった第七波では、全国で陽性者数が跳ね上がりました。オミクロン株はデルタ株に比べて、感染力が最大三倍と強く、潜伏期間が三日程と短く、軽症が多いという特徴があります。これは、オミクロン株のウイルスが肺まで入らず上気道に感染するためです。肺炎を起こしにくく、口に近い上気道からウイルスをたくさん出すため、他の人へ感染しやすくなりました。

感染者数が急増して重症になる人も増え、若い人も感染してそれに気づかず、家庭内等で高齢者や子どもに感染させてしまうことが増えました。医療病床は限られており、軽症者が多いため、自宅療養者が増え、島でも多くの陽性者が自宅で療養されました。



コロナに立ち向かう武器は、知識とワクチンと治療薬です。今回はワクチンを取り上げます。

まず、ワクチンにはどのような効き目があるのでしょうか。ワクチンを打つと、身体の免疫系に新型コロナウイルスの構造を、予め敵として覚え込ませることができます。そのため同ウイルスが侵入すると、直ぐに免疫が発動して抗体がこれを攻撃することができます。これにより感染しても発症させない、重症にさせない効果が期待できます。

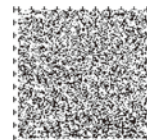


それではなぜ2回も3回も接種するのでしょうか。それは残念ながら時間が経つと、免疫がコロナウイルスを忘れてしまうからです。そのため一定期間後、再度ワクチンを打って免疫を揺り覚まして効果を高めます。これが追加接種で、この効果をブースター効果といいます。何よりも必要な回数のワクチンを接種して、免疫をつけておくことが大切です。

最後に繰り返しになりますが、ワクチンを打って免疫を付けておくことは、コロナの発症予防、重症化・死亡防止に効果があります。さらに集団が一定の免疫を持つことが感染症対策には有効ですので、接種ができる方には、自分と自分の大切な人を守るためにもワクチン接種をお勧めします。



島しょ保健所三宅出張所 副所長 小池 梨花



いつ起きるか わからない! 災害時に備えた「食品の家庭備蓄」 のススメ

地震や津波、台風、火山の噴火など、災害はいつ起きるか分かりません。大きな災害が発生し、物流機能が停止した場合、商店等の店頭で食品が手に入りにくくなります。また、電気や水道、ガスなどのライフラインが停止した場合、日常生活とかけ離れた環境で生活しなければなりません。いざというときのためにも、日頃から備えておくことが大切です。今回は、「食品の家庭備蓄」について考えてみましょう。



食品の備蓄量は「家族の人数×1週間分」

一般的には、「家族の人数×3日分」の食品の家庭備蓄が望ましいと言われていますが、島しょ地域では、災害支援物資の到着に時間がかかる可能性があります。島内の物資が不足することに備え、**1週間分**を目標にして、家庭での備蓄を進めましょう。

水については、**1人1日3L**程度備蓄しましょう。



簡単!ローリングストック

「ローリングストック」とは、普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限・消費期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法です。

Point

- ・費用、時間の面で、普段の買い物の範囲でできる
- ・買い置きのスペースを少し増やすだけで済む



備蓄食品の選び方

不足しがちなたんぱく質・ビタミン・ミネラルなどを摂取できるようにバランスよく備えましょう。

主食 ご飯・パンなど エネルギー源となるもの



- アルファ化米 ●乾パン ●クラッカー
- パックご飯 ●乾麺 ●ロングライフパン

主菜 肉・魚・大豆製品・卵など たんぱく質の供給源



- レトルト食品（丼やカレーなど）
- 缶詰（魚・肉・豆など） ●乾物（高野豆腐など）

副菜 野菜の煮物やサラダ・汁物など ビタミン・ミネラルの供給源



- 缶詰（野菜） ●乾物（カットわかめなど）
- 野菜ジュース ●日持ちする野菜類 ●即席汁物

果物 果物やフルーツの加工品など ビタミン・ミネラルを補うもの



- 日持ちする果物 ●果物缶
- 果物ジュース ●ドライフルーツ

その他 飲料など

- 飲料水 ●お茶
- 経口補水液 ●ゼリー

備蓄食品と一緒に、カセットコンロ、ガスボンベなどの「熱源」も備えておきましょう!



今年は特にインフルエンザ対策を

今夏、猛烈な勢いで新型コロナウイルス感染症の第7波が全国を襲い、三宅島・御蔵島でもこれまで経験したことのない規模で感染が拡大しました。日本感染症学会は、今秋から冬にかけて、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行の可能性が大きいと予測しています。インフルエンザは、国内で新型コロナウイルス感染症の流行が始まった2020年2月以降、大規模な流行はありませんでしたが、この2年間でインフルエンザに対する集団免疫が低下している恐れもあり、いったん感染が広がれば、特に子どもを中心に大きな流行になる可能性があると考えられています。

インフルエンザは新型コロナウイルス感染症と同様に、予防接種により発症や重症化を防ぐことがある程度可能です。手洗いなどの予防策、予防接種を積極的に受け、免疫力を高めるなど取り組みつつ、この冬の感染症の流行にも備えましょう。

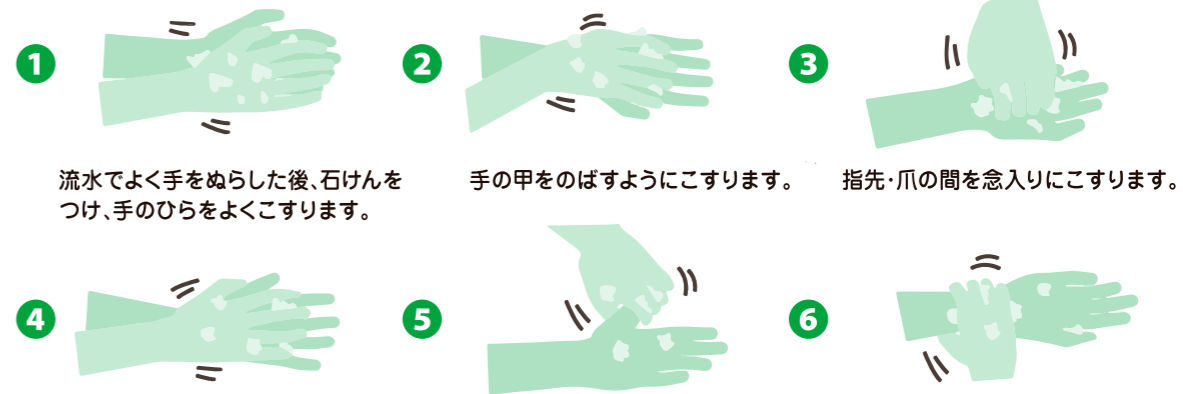
季節性インフルエンザの予防

感染経路を断つ

帰宅時や調理の前後、食事前など、こまめな手洗いを心掛けましょう。アルコールを含んだ消毒液で手を消毒するのも効果的です。外出時なども手を顔に持たないようにし、外食時も食事前は手洗いを心掛けましょう。

正しい手の洗い方

手洗いの前に ・爪は短く切っておきましょう ・時計や指輪は外しておきましょう



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

手の甲をのぼすようにこすります。

指先・爪の間を念入りにこすります。

指の間を洗います。

親指と手のひらをねじり洗います。手首も忘れずに洗います。

出典：首相官邸ホームページより引用。また、画像は首相官邸ホームページ掲載のPDFファイル「手洗い」を加工して作成。

予防接種を受ける

発症する可能性を減らし、もし発症しても重症化することを防ぎます。



免疫力を高める

免疫力が弱っていると、インフルエンザウイルスに感染しやすくなります。また、感染したときに症状が重くなってしまふおそれがあります。ふだんから十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておきましょう。